

第38回県本部総会
のご案内

とき 6月30日(日) 10時~12時

ところ 高松市おなびCAN
視聴覚室

講演

「福田村事件と日韓交流」

講師 中尾忍弘(学習協会長)



香川県版 No.3 0 6

2024. 6. 15

治安維持法関係同盟

香川県本部

高松市塩江町安原下

1-649-22

☎087-897-0004



絵
子
紙

高松市 孝岡弘子

6月の県本部理事会
6月の役員会は18日(火)午前10時から
太田展生会長宅(高松市春日町)で
開きます。

の案内で強制連行の場所も訪れました。皆さんのカンパで北海道では展示館の再建が6月に始まります。

「伊藤千代子の生涯」上映運動 7月16日小豆島での2回上映は参加者110人、入会1名署名38筆と成功を取めました。実行委員会を5回持ち、ポスターを公共も含めて50カ所以上掲示、チラシも一般紙と併せて折り込み周知に努めました。上映アンケートは57人から寄せられました。映画会はさらに島内の「戦争と平和を考えるツアー」の実施へと広がり9名が参加、多彩で有意義な実行委の取り組みは他でのこれからの取り組みの範となるものです。

西讃地域で必ず上映しましょう。上映債権二つを有効活用しましょう。

宣伝活動 同盟独自の終戦記念日の宣伝が台風で流れ、12月8日開戦の日の宣伝に初めて取り組みました。同盟員以外の参加者と合わせて9名で歌、訴え、チラシ配布とユニークな宣伝行動でした。節分の日街頭署名だけでなく共闘団体の宣伝への参加、情勢に見合った様々な形の宣伝が求められています。

犠牲者の顕彰 「香川県の治安維持法犠牲者名簿」作りが必ずやらなければならない課題として残っています。

女性部の活動 害33回全国女性交流会に代表を送り報告学習会を持ちましょう。

学習活動 何事も学習がかかせません。講演会を開き、新しく発行される中央のテキスト「治安維持法とは何か」の普及と学習に取り組みます。

機関紙 「不屈県版」の作成は編集体制と読みたくなるよう改善しなければなりません。

四国ブロック交流会 9月8-9日高知で4名が参加。愛媛の映画上映のとりくみが教訓的でした。次は徳島で10月19-20日で開かれます。

財政活動 100%の会費納入にご協力をお願いします。

第38回香川県本部総会活動報告と運動方針（案）

2024年6月30日（日）

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟香川県本部

自公政権の退陣、犠牲者への謝罪と賠償を実現するため150名の仲間づくりを達成しよう

はじめに　いま世界では自らの政治の失敗を侵略、ジェノサイド、独裁、人民弾圧で乗り切ろうとするものが跋扈しています。来年は治安維持法が公布されてから100年。国民を弾圧し虐殺しても合法だと居直る政権が、そればかりか新たな弾圧立法を強行して全部そろえた日本。国民主権と反戦平和を求めて戦った先人を弾圧によって命を奪った歴史の事実を国民に知らせ続け、犠牲者への謝罪と・名誉回復を政府に要求し続ける国賠同盟の存在意義はますます大切が必要です

請願署名運動　今年度の結果は個人署名721筆、団体署名11筆でした。目標の24%で昨年より104筆減です。4月の地方選挙がありましたが、その後会員全員参加の運動に今年もできず、団体への協力要請も11月と遅くなりました。コロナ禍前の過去の数から大きく後退しており創意工夫が必要です。

51回目の国会請願で地元の小川淳也事務所に紹介議員になってもらうようお願いがいました。請願代表は送れず中央本部に委任しました。四国の3県本部にも負担をかけており改めなければなりません。

県同盟の運営と組織　会員現勢は120名で全総会より3人減です。署名を集める団体にとどまらず、治安維持法体制の復活に反対する課題に諸団体と共闘できる力と運動ができるよう次期総会までに150人の拡大目標を達成しよう。

支部は小豆島以外まだ確立できていません。地域の役員から呼びかけていく必要があります。理事会は今年度毎月欠かさず開いてきました。その中で学習の時間も取ってきました。しかし、一度に2名の副会長と顧問1名が逝去し、大きく弱体化し強化が差し迫った課題です。

歴史を語り継ぐ活動

「笹の墓標展」の取り組み　6月9～13日で高松市の浄教寺を会場に北海道朱鞠内の日本人・朝鮮人強制労働の歴史を展示しました。参加者は　人、戦争を煽る政治に対し過去の歴史に学び東アジアの平和と和解の歩みをすすめるためのかつどうです。北海道から事務局の金英絃さんが車に展示物を積んで四国を巡回しました。その時小豆島で同盟員

仲亀昌身理事さんを偲んで

仲亀昌身さんを偲ぶ会が、5月18日高松市において大勢の方の出席の下執り行われました。仲亀さんの思い出を語るスライド上映やささまざまな各会の方より思い出などが語られました。

私は、50年程前高松民商勤務時代に全盛期の青年部活動でさまざまな行事と一緒に活動していて楽しい時代を過ごしました。

旧池田町議会選挙の時に選挙事務所地域地図作りでは手際よくやっていたことを思い出します。

最近では治安維持法犠牲者国家賠償同盟県本部の理事とともに役員をしていますが、定例役員会の時、「体調があまりよろしくない」とボソッとこぼしていたことがあり、病院の診察を勧めてくれました。

同盟の拡大行動などではいつも事務局長と日程を相談して一緒に行動していました。長年にわたって民主化運動をまっしぐらに活動をやってこられ、その合間に野菜作りをしていた様子で唯一の楽しみ事のように思いました。本当に大事な方を失ったことを残念に悲しく思います。合掌。

2024年5月30日 小豆島支部 村上久美

いつも笑顔で、どの会議でも「やりましょう」と言っていた亀さん！
 60才過ぎからはじめてスキーも、「面白い。また行きましょう」と、石横高野山にヒッピー着ました。
 仲亀さんのバーベキューの味も懐かしい思い出です。

Love & Peace

私たちは、志をひきつぎ
 努力します。

氏名 芳岡 HIROKO & Soden!

仲亀昌身さん(県本部副会長)
 を偲んで寄せられました。紹介します